

2-1-2)

にじゅうまるプロジェクトの展開と田んぼ 10 年プロジェクト

道家哲平 (IUCN 日本委員会)



2010 年愛知県名古屋市で開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) で日本がまとめ役となって作り上げられた 2020 年までに生物多様性の損失を止めるための行動として、20 の世界目標、「愛知ターゲット」が採択されました。「人と自然が共生する社会」を作るために、2020 年までに、地球規模、国家規模、地域規模で、多様な主体 (国連、国際機関、政府・自治体・科学者・企業・NPO・市民・農家・漁師・・・) がそれぞれの立場で求められる行動を、20 年までに単純化し、目標としてまとめあげたものとなっています。

国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J。事務局は (公財) 日本自然保護協会) では、この愛知ターゲット達成を進めるため「にじゅうまるプロジェクト」を 2011 年にスタートさせました。「愛知ターゲットを知り、自分達の活動とのつながりに気づき、そして、生物多様性のアクションを宣言する。」という参加型の仕組みで、2013 年 8 月で 150 の団体が 207 の“にじゅうまる宣言”を行っています。そのうち、3分の1に近い 50 を超す団体が、田んぼ 10 年プロジェクトを通じた宣言です。

私の報告では、このにじゅうまるプロジェクトと今後の展開を紹介したいと思います。

プロフィール

道家哲平 (どうけ てっぺい)

日本自然保護協会/保全研究部 国際自然保護連合 (IUCN) 日本委員会事務局担当

1980 年東京生まれ、千葉大学大学院修士課程修了・人文科学 (哲学) 専攻。

2003 年より、日本自然保護協会 (NACS-J) に所属。NACS-J が事務局を務める IUCN (国際自然保護連合) 日本委員会の事務局担当職員として、国際的な情報収集・分析を行い、日本の生物多様性保全の底上げに取り組んでいる。2010 年愛知県で開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) においては、CBD 市民ネットの東京事務局コーディネータとして NGO グループの全体運営に関わった。

現在は、COP10 の成果を受けて、日本での愛知ターゲット実現に向けた取り組み「にじゅうまるプロジェクト」の総合企画運営に携わっている。